

整理番号	02-0994
区分 (事務局記入欄)	☐ 臨床研究(☐ 受託・共同 ☐ 院内) ☒ その他
	☐ 医薬品 ☐ 医療機器 ☒ その他

医学研究に関する情報公開文書

西暦 2025年 3月 27日

研究課題名	グラニセトロン併用による卵黄 FPIES の OFC 負荷量設定：後方視的検討
研究実施期間	開始 西暦 2025 年 4 月 9 日 ~ 終了 西暦 2025 年 10 月 31 日（予定）
研究の対象 となる方 (予定症例数)	1. 2022 年 10 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間中に 2. 卵黄の食物蛋白誘発胃腸炎における食物経口負荷試験を受けた方 (症例数： 47 例)
研究の目的 ・ 方法	【背景・目的】卵黄 FPIES に対する OFC における至適負荷量は未だ不明である。本研究では、卵黄 FPIES に対する OFC を後方視的に検討した。【方法】2022年10月から2025年3月に当院で実施した卵黄 FPIES 症例（疑い例を含む）に対し、20分固茹で鶏卵の黄身（以下、加熱卵黄）を用いた OFC を後方視的に検討した。まず加熱卵黄2g を用いた OFC を行い、陰性の場合は後日、加熱卵黄10g の OFC を実施し、陰性であれば除去を解除した。OFC で嘔吐を認めた場合は、グラニセトロン塩酸塩40 μ g/kg を経静脈投与した。
研究に用いる 試料・情報の 種類	診療録から得られる情報：年齢（月齢）、性別、他のアレルギー疾患合併率、および各種アレルギー検査結果、転帰等のカルテ情報
問い合わせ先	・ 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ・ ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 ・ また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 地方独立行政法人市立東大阪医療センター 研究責任者：小児科 副部長 土井政明 住所：大阪府東大阪市西岩田三丁目 4 番 5 号 TEL:06-6781-5101